

法幢院 寶授院 だより

第14号

平成28年 夏号

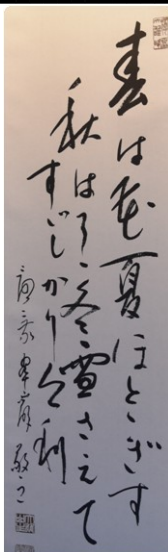
発行所

宗教法人 法幢院
寶授院

発行人 松山典嗣
甲州市塩山上萩原 94

☎ 0553 (33) 2092
Fax 0553 (33) 7772

(年2回発行)



「本来の面目」

住職 松山典嗣

曹洞宗をお開きになられた道元禪師のお歌に

春は花 夏ほととぎす 秋は月
冬雪さえて 冷しかりけり

(題目…本来の面目)

というものがあります。

歌の「冷し(すずし)」はすずやかという意味で使われていて春の花も、夏のほととぎすも、秋の月も、冬の雪もすべて「冷し」の一句にかかってくるわけです。

この歌は日本の四季の美しさを詠んだだけではありません。私たち一人一人の人生にもつてくれば春の暖かさのような日、夏の暑さのように熱

くなる日、秋の落葉のようにうらぶれていく日、冬の寒さのような辛く厳しい日、そのいずれもすずやかに受け止めて生きていこうという教えがこの歌の中にはあります。

しかしこの歌の教えも『頭で理解した』ということと『実際に行う事』の間には随分な開きがあるような気がいたします。自分自身を顧みても、私に都合の良いことは受け止めておこう、都合の悪いことは受け止めない。そのようなことは多々あります。

先日の曹洞宗山梨県青年会主催の青山老師講演会。講演会終了後に青山老師を囲んでの食事会がありました。場所は甲府駅前の店。料理の内容がお刺身、お肉、天ぷら、おそば…。いつもは修行僧と共に寝食を共にしている老師にとって、このような食事ではないのかと何人かの青年僧は思ったかもしれません。一人の青年僧が青山老

師にこう尋ねました。「老師、今夜はこのような食事で大丈夫でしょうか？」すると老師は笑顔でこう返しました「全部いただく、えり食いはせぬ」と。

その答えに場が和んだ後、青山老師はこう続けました。「全部いただく、えり食いはせぬとは食事だけではな

いのですね。人生という食卓には何があるか分からない。病気という食事、苦手な人という食事、別れという食事が上ることがある。それに文句を言わず全部を頂戴しその御蔭ですばらしいことに気付かせていただくと転じていく。これが大事なのでしょね」

大変、有難い教えを頂戴いたしました。この教えを自らの中心線に置き人生修行の一步一步の歩みを進めてまいりたいと思います。 合掌



青山俊董老師 (後ろの掛け軸は古川幸男様所有のもの)

曹洞宗山梨県青年会主催
青山俊董老師講演会に寄せて

岩波組 岩波学

去る三月、曹洞宗山梨県青年会主催

の講演会に参加する機会を得ました。当山からも多数の檀徒が参加いたしました。会場の甲府市市民会館ホールは雨天にもかかわらず、満席の状況でした。

第一部は演劇、若いお坊さんが大勢出演された『禪寺の朝・坐禪』でした。ナレーションは松山師がつとめられました。修行僧の朝のおつとめ、何十年、何百年変わる事無く行われてきた起床から掃除、坐禪、読経、食事、禅寺の朝の風景が活き活きと展開されました。後日、松山師に「修行では経文の解釈等を教えてくれるのですか？」とお尋ねしたところ「解釈というよりヒントと言ったら良いでしょうか？」との返事。全てが行の中にあるということでしょうか？

第二部は青山俊董老師による講演『生かされて生かして生きる』でした。柔和な笑顔と語り口で人との出会いの素晴らしさ、大切さを優しく説いてくださいました。興味深かったのは老師とノートルダム清心学園のシスター渡辺和子先生との交流の話でした。

時代を共に生きた人間として、肝胆相照らすとはこの事と思いました。経験豊かな老師の言葉は私たちの心の奥に響きました。大遠忌のテーマ「相承」を感じる事が出来た一日でした。

合掌



舞台「禅寺の朝」

庫裡屋根替え

本年、一月から入った工事もまもなく完了となります（六月十九日現在）皆様方のご協力の御蔭で支払いの目処が立ちました。ご協力ありがとうございます。



雲龍カフェ開催

四月八日、花まつりの日に雲龍カフェを開催いたしました。今年は甲府市旭栖院住職、中込誠道師に法話をしていただきました。楽しい話を中心にお釈迦さまの教えを分かりやすく説明して下さいました。



寄付感謝録

- 川崎市 鈴木保雄様 寄付金
- ・ 踊石上 笠井良男様 水場工事

寄付金の使用

・ 松山剛様より クーラー2基。書院と坐禅堂に設置させていただきました。

・ 中村照夫様より 大般若収納箱。桐で作った大般若六百巻の収納箱を全十二箱。虫や湿気から本を守り

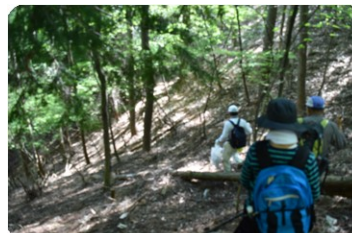
保存ができます。



ありがとうございました

雲龍山旧地を訪ねて

五月五日（木）法幢院旧地を檀信徒十七名で訪ねました。塩山カントリークラブ裏から途中まで車。その後十分ほど歩いた地点にあります。



葬儀パンフレット完成

葬儀とは何か？葬儀の意味が少しでも伝わればとの思いで、青年僧数名と共にパンフレットを作成いたしました。空白の部分には戒名や由来を印刷いたします。見本を同封いたしましたのでご覧いただきたいと思います。

今後の法幢院の予定

別紙をご確認下さい。

